

2018年(平成30年)6月8日(金曜日)

三島駅周辺だけ栄え 市中心商店街は沈滞

再開発反対派が検討会

三島市が進めているJR三島駅南口東街区の再開発事業に反対する市民らが問題点について話し合う市民検討会が六日夜、同市南本町の市社会福祉会館で開かれた。

再開発事業は二〇二五年一月ごろまでに、東街区の一・二杉に高層ビルや商業施設など四棟を建設する予定。市は総事業費二百二十億円のうち三十億円を負担するほか、事業費と別に駐車場の取得費など三十一億



円を支出するとしている。

検討会は、市内の環境保全や町づくりに取り組んでいるNPO「グラウンドワーク三島」が主催。渡辺豊博専務理事は「事業が進めば駅周辺だけが栄え、中心商店街の店は沈滞してしまう。東街区を今のまま駐車場にしておけば三十年間で

四十五億円の収入が見込め、市役所改修にもあてられる」と事業中止を訴えた
写真。

来場者たちも「扶助費が増えている中で大きな投資をするのは財政的にリスクがある」「景観や湧水に悪影響が出るのでは」などと懸念を語った。

検討会は十日午後二時半～五時にも、同市一番町の市民文化会館で開かれる。問い合わせは同NPO電話055(983)0136へ。
(杉原雄介)